



## 福島の中で復興を目指す

本町を会場に復興イベントを開催



磐梯山を眺めながらゴールを目指す参加者ら

音楽、スポーツや食のイベントを通して、本県の素晴らしさを内外に発信するイベント「GAMBARUZO! 福島 2 Days in いなわしろ」は6月4、5の両日、ホテルリステル猪苗代をメイン会場に開催されました。溝畑宏観光庁長官やしやくなげ大使の福留功男さんも参加した猪苗代湖畔チャリティーウォーク、元BOOWYのドラマー高橋まことさんをホストに開催した「GAMBARUZO! ライブ」、フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会のモーグル会場を逆走するマラソン大会、ふくしま物産展や花火大会などに多くの人が訪れ、イベントを満喫しました。

## 会津信用金庫がAED寄贈

設立70周年記念事業の一環として



左から津金町長、星常務理事、石井支店長

会津信用金庫(本店・会津若松市、星幹夫理事長)の星幸雄常務理事、石井通雄猪苗代支店長と総合企画部の堀越修さんら3人は6月15日、町役場を訪れ、緊急時に有効に活用してほしいと自動体外式徐細動器(AED)を寄贈しました。寄贈は今年3月に創立70周年を迎えた同信金が、記念事業の一環として実施したものです。18の支店があるすべての市町村にAEDを贈りました。

目録を受け取った津金町長は「救命救急は初動が大切。職員も救急救命講習を受けている。万一に備えて、安心安全な地域づくりのために活用したい」と感謝の言葉を述べました。

## 仲間と一緒に心地よい汗を

第32回高齢者スポーツ大会を開催



元気いっぱいな様子でキン転がしに挑む参加者ら

町高齢者スポーツ大会は6月17日、カメリーナで開催されました。町と町老人クラブ連合会が主催するこの大会には、町内6地区から約250人が出場、各地区の参加者から仲間に対する声援が上がり、カメリーナ中に響き渡りました。

参加者らは、1人のモデルをみんなで着替えさせる「ファッションショー」、キンボールという大玉を転がす「キン転がし」やラグビーボールを棒で転がして進む「豚追い競走」など12種目に挑み、仲間たちと一緒に心地よい汗を流しました。

地区別では、ことしも翁島地区が優勝。連覇を果たしました。

## 歌手2人が歌で被災者激励

がんばろうコンサート開催される



左から大坪さん、津金さん、宇月さん

本町出身の歌手、宇月東さんと津金久子さんによる「がんばろうコンサート」は6月19日、学びいなで開催され、招待された避難者200人を含む約400人が叙情歌やオペラの歌声に酔いしれました。アンコールでは、観客と一緒に童謡「ふるさと」を熱唱。「涙で歌えなかった」と話す避難者もいました。

このコンサートは、宇月さん、津金さんとピアニストの大坪由里さんが、被災者に楽しいひとときを提供したいと企画したものです。

コンサート終了後、宇月さんら3人は、町役場に収益金と会場で募った募金74,430円を寄贈しました。

## スポーツ民謡を見て元気を

猪苗代町スポーツ民謡が慰問活動



大熊町民の前で猪苗代音頭などを披露するメンバーら

福島県スポーツ民謡連盟猪苗代支部(菊地和子代表)の会員ら17人は5月31日、会津若松市のナリ会津カントリークラブを訪れ、大熊町から同クラブに避難している大熊町民約60人を慰問しました。

「大熊町からこちらに来て避難生活を送る人たちに、踊りを見て少しでも元気になってほしい」と話す菊地代表。「猪苗代音頭」や「会津ってところはいいとこさ」など7曲を披露し、最後の1曲では、避難者の皆さんと一緒に会津磐梯山を踊って避難者を元気づけました。

## 雨の中、頑張る姿に大声援

町民健康マラソン大会で健脚競う



雨の中を元気いっぱいに走る小学生たち

23年度の町民健康マラソン大会は6月26日、町民運動公園で開かれ、小・中学生を中心に468人が健脚を競いました。

昨年に引き続き、本年も雨模様となってしまいましたが、参加者たちは雨に負けない力強い足取りでコースを駆け抜けました。

子どもと大人が入り交ったマツチレースを繰り広げる人気種目の親子競争やリレーマラソンには67組が参加。雨の中を応援に駆け付けた家族などから盛んに声援が飛びました。

会場では、町食生活改善推進委員らにより豚汁が振る舞われ、選手や応援に訪れた家族たちから好評を博しました。